

# 9月1日は

# 防災の日

## 自主防災組織で 地域の安全を

大きな災害では、警察や消防がすぐに救助に駆けつけられるとは限りません。そこで重要なのが地域のみんなの助け合いです。

被害を減らすためには、地域のみなさんが集まり、互いに協力して防災活動に取り組む自主防災組織の活動が期待されます。

### 自主防災組織の役割

#### ▼自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域のみなさんが、災害発生時はもちろん、日頃から自発的に防災活動を行ふ組織のことです。

通常は町内会・自治会単位で結成されるようですが、

地域のみなさんが自発的に活動する団体であれば、町内会単位の結成に限定して

いるものではありません。

#### ▼必要とされる自主防災組織

災害発生直後は、広範囲にわたって建物の倒壊や火災の発生、道路・水道・消火

設備の破損などが起こるため、すべての現場に警察や消防が駆けつけることはできません。

災害が発生した際、まずは自分自身、また家族の身を守ること。そしてつぎに、地域のみなさんが的確に行動し、被害を最小限に止める活動が必要になります。日頃からの地域内の安全点検や防災訓練の実施、また、災害発生時の初期消火や被災者の救出、避難所の設営など、重要な役割を担っているのが自主防災組織です。

## 自主防災組織に 補助金を交付

市では、自主防災組織に対し、つきの補助金を交付しています。

- ①設立補助金
- ②資機材等購入補助金
- ③防災訓練実施補助金
- ④くらし安全課 (43) 1111内線173・FAX (44) 0257



## 埼玉県防災情報メール

### ▼配信する情報

- ①気象警報・注意報
- ②地震情報
- ③避難情報
- ④危機管理情報

### ▼登録方法

バーコードリーダー機能付き携帯電話からは、下のバーコードをご利用ください。または、宛先に [saitamaken@jijo.bosai.info](mailto:saitamaken@jijo.bosai.info) と入力して空メールを送り、届いたURLにアクセスすると登録手続きができます。



### ▼料金

無料でご利用いただけますが、メール受信に係るパケット料金などの通信費用は利用者の負担となります。

問合せ 埼玉県危機管理防災部消防防災課 048(830)3160  
<http://saitamapref.bosai.info/bosaimail/index.html>

## 防災訓練に参加しよう

市ではつぎのとおり防災訓練を実施します。

訓練に参加して、自分たちにできることを再確認し、防災について改めて考えてみませんか。  
とき 10月16日(土)午前9時10分から受付開始  
※雨天中止。

ところ さくら小学校グラウンド

※会場までは徒歩または自転車でお越しください。  
訓練種目

避難誘導訓練(午前9時から)、負傷者救出訓練、炊き出し訓練、浄水訓練、仮設トイレ設置訓練、初期消火訓練、消防団消火訓練、救助訓練など  
展示・体験

煙体験／救援要請体験／無料出前耐震診断  
※内容については、変更になる場合があります。  
問合せ くらし安全課 (43) 1111内線173  
FAX (44) 0257

# 9月9日は「救急の日」



「救急の日」は、昭和57年から、救急業務などに対するみなさんの正しい理解と認識を深め、意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日が「救急の日」、そして救急の日を含む一週間(日曜日から土曜日)が定められています。

## 救急車の適正利用 救える命を守りう!

近年、全国で救急車の出動件数が急増しています。当市では平成21年中の救急出動件数は、2011件で、救急車を要請した人の約47%が入院の必要のない軽症者でした。実際、以前に比べ救急車が現場に到着するまでの時間が長くなっています。このような状況では1分1秒を争う生命の危険にある傷病者への対応が遅れてしまう恐れがあります。

救急車は、最善を尽くして、現場に迅速に到着しようと努力しています。

これだけ多くの出動件数の中には、残念ながら本当に救急車が必要であつたのかと疑問に思う事例もあります。

- ▼心筋梗塞、狭心症
- ・突然の前胸部の激しい痛みが15分以上続く
- ・冷や汗をかく

## こんな症状は 迷わず 119

- 【おもな症状】
- ・歯が痛む
  - ・指を切った
  - ・足首をひねった
  - ・頭痛
  - ・めまいや吐き気が起る
  - ・首・背部・左腕・腹部が痛むこともある
  - ・突然の原因不明な激しい頭痛
  - ・突然の半身不全
  - ・片方の手足に「力が入らない」「動かせない」
  - ・突然なめまい
  - ・体の片側だけがしびれる、感覚がない
  - ・持っていたものを知らない間に落とす

幸手市では、3台の救急車を配備し、市民のみなさんからのSOSに対応して

いますが、緊急性を要しない利用が多くなると、本当に救急車が必要な人に速やかに出動させることができません。  
市民のみんなの適正な救急車の利用で、助かるはずの命を助ける地域にしましょう。



## 上級救命講習のご案内

とき 9月12日(日)午前9時～午後5時  
ところ 消防署西分署  
内容 すべての年齢に対する心肺蘇生法やそのほか応急救手当について  
問合せ 消防署☎(42)9119  
FAX(42)9117